



～ 選任式 & 朝会 ～

昨日は選任式と朝会をリモートで行いました。まず選任式では、児童会の中心となって活動する5・6年生の計画委員10名と、2年生以上の1学期学級委員各クラス2名ずつ、それぞれの代表に選任状を手渡しました。自分たちの学校生活は、自分たちの力で、楽しく、明るく、元気いっぱいに過ごせるように、自主自立を目指してがんばってほしいと思います。

選任式に引き続き、朝会では全校生におけて、次のような話をしました。



朝会で話したこと

おはようございます。始業式から1週間と少し。新しいクラス、担任の先生にも慣れ、勉強に、運動にがんばっていると思います。

さて、「たいせつなこと・にしかんき」を覚えていますか。

「に」は？ 「し」は？ 「かん」は？ 「き」は？

ちゃんと覚えていますね。今日は「にげない」に関するお話をします。

みなさんは、電球を発明した人を知っていますか？

そう、トーマス・エジソンという人です。ちびまる子ちゃんの歌にも登場している人です。

エジソンは1300以上の発明をして、「発明王」と言われています。その中でも、特にエジソンの三大発明と言われているものが「蓄音機」「動画撮影機」「電球」です。ただ、最初に電球を発明した人は、エジソンではなくジョセフ・スワンという人です。なぜ最初に発明したスワンよりエジソンの方が有名なのでしょうか。実は、スワンの発明した電球は40時間しか明かりがつかまませんでした。それに比べてエジソンの電球は25倍の1000時間も点灯し続けることができました。エジソンのおかげで電球が広まったので、エジソンの方が有名になったのです。

では、ここで問題です。

エジソンは電球を長い時間点灯させるために、何回、実験をしたのでしょうか。

①1回 ②500回 ③5000回 ④10000回

①だと思う人？ ②だと思う人？ ③だと思う人？ ④だと思う人？

正解は④の1万回です。2万回という説もあるそうです。すごいですね。当時の人もそう思ったらしく、記者の方がエジソンにインタビューをしたそうです。

「1万回、失敗しても続けたのはなぜですか？」

という質問に、エジソンはこう答えました。

「私は、失敗なんかしていない」

インタビューした記者は、「いやいや、何回も何回も失敗したと聞いていますが」と聞き返しましたが、エジソンは話をこう続けたそうです。

「この方法では電球は光らないという発見を今までに1万回してきたのだ。だから失敗ではなくて、その方法ではうまくいかないことが分かったんだから成功なんだ」

そしてエジソンは最後にこう言いました。

「私たちの最大の弱点はあきらめることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう1回だけ試してみることだ。」

だから、エジソンは電球がつかなくても、そこであきらめずに「もう1回やってみよう」と実験を続けたのです。

1回や2回の失敗は失敗ではありません。何回失敗しても、それは成功するために必要なことです。もう無理だと諦めないで、逃げないで、さらにもう1回がんばってみましょう。挑戦を続けてみましょう。

この1年の間、何回やってもうまくいかないことがあるかもしれませんが、そんな時こそ、今日の校長先生のお話を思い出してくださいね。

これで校長先生のお話を終わります。

